

令和3年度事業報告

東日本大震災及び東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から11年が経過しました。

原子力科学館のリニューアル工事は、5ヶ年計画の初年度（第一期）分となるガイダンスシアターの整備に引き続き、第二期分となる世界最大級の霧箱等の整備を行い、3月22日に内覧会、23日より一般公開を開始しました。

また、展示館事業及び普及啓発事業につきましては、令和2年度を初年度とする「中期計画」の2年目として、計画に沿って事業を進めてきましたが、昨年と同様、新型コロナウイルスの感染拡大により、夏季に約1ヶ月に亘り臨時休館を余儀なくされるとともに、イベントの中止や3密防止対策による参加人員の制限等を実施した結果、引き続き来館者数をはじめ事業計画に影響を受けたところです。

このような状況下ではありますが、今後とも、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底を図りつつ、限られた資源を有効に活用して事業を推進し、科学技術の振興に寄与してまいります。

※原子力科学館の臨時休館：令和3年8月18日～9月26日

I 展示館事業

1 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

(1) 原子力科学館展示物のリニューアル計画

原子力科学館展示物等のリニューアルについては、リニューアル基本構想（5ヶ年計画）に基づく詳細設計に従い、茨城県及び関係市町村の支援並びに外部有識者の助言をいただきながら、計画どおり第二期工事「ラジエーションボックス -放射線の正体-」として、世界最大級の霧箱等の整備を令和4年3月18日に完了した。

この間、科学館での工事は、来館者の安全と来館者数に影響の少ない休館日を中心に実施した。

ラジエーションボックスは、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を期しながら、3月22日内覧会、3月23日より一般公開し、3月26日にはオープン記念イベントを開催した。

また、3月にはホームページやフェイスブックを活用し、当該工事完成計画図を公開するとともに、イベント告知のチラシを学校等へ配布するなど、積極的に情報発信を行った。

なお、令和3年度来館者数は15,972名となり、年間来館者は前年度より5,601名上回った。

(2) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示 ・ラジエーションボックス -放射線の正体- 新たに整備した世界最大級の霧箱等の展示 (令和4年3月23日～)【新規】

②	放射線利用展	通年	・医療、工業、農業など広範な分野で利用されている放射線について、実物照射製品、医療施設等の模型、パネルを展示
③	J-PARCの概要	通年	・大強度陽子加速器施設（J-PARC）について、パネル及び模型を展示
④	福島第一原発事故展示	通年	・事故の収束に向けた道筋に関する東京電力資料をパネルで展示
⑤	JCO臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 ・JCO臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑥	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 ・東海第二発電所における、福島第一原発事故以降の安全対策に係るパネル等を展示
⑦	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	・梶田教授のノーベル物理学受賞及びJ-PARCとスーパーカミオカンデを繋ぐT2K実験の解説パネルを展示

(3) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	金星探査機「あかつき」	4/20～6/20	2010年の金星周回軌道投入の失敗を乗り越え、5年後の再挑戦で軌道投入に成功した日本初の金星探査機「あかつき」からの最新報告を紹介
	講演会「金星のお話ー宇宙の大きさを実感しよう！ー」	6/6	講師：茨城県立土浦第三高等学校 岡村 典夫 氏 参加人数：51名
②	星座展-ギリシャ神話からキトラ古墳まで-	11/2～1/10	国際的に決められている88星座の歴史を、星座を制定して人々や、黄道12星座にまつわるギリシャ神話とともに紹介。併せてキトラ古墳に描かれた古代中国の星についても紹介
	講演会「茨城の古墳を科学する」	1/9	講師：公益財団法人茨城県教育財団 埋文企画管理課 檜村 宣行 氏 参加人数：39名
③	環境DNA博士と水辺の生き物を調査せよ！	2/1～3/21	実際の環境DNAの解析データから、水辺の魚を調べ、身近な生物の多様さをはかる体験が出来るパネルの展示と実際に行われている取り組みについての紹介
	講演会「水辺の砂と生き物の過去・現在・未来」	3/20	講師：茨城大学水圏環境フィールドステーション 山口 直文 氏 参加人数：55名

(注) 全国科学館連携協議会との共催による企画展

(4) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	第 33 回アートロード展	3/30～4/18	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）
②	東海フォトクラブ写真展	10/19～ 10/24	・クラブメンバーによる自然風景やスナップなど
③	常陸てまり展	12/7～4/10	・「二川良子と仲間達」による、てまり作品展
④	広木孝一写真展	1/12～1/23	・「美しい自然のランドスケープ」大判フィルムで撮影した、風景写真
⑤	第 34 回アートロード展	3/23～4/10	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）

2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/2～5/4	①交通安全教育&白バイ・パトカー乗車体験 ②ジャンボシャボン玉で記念撮影 ③茨大大道芸サークルによるジャグリング体験&ショー ④盲導犬の訓練犬とふれあい体験 ⑤工作教室の開催 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照 来館者数：1,551名
(2)	夏休みイベント	7/21～8/17	①工作教室の開催 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照 ②紙ダイナソー ③アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(4)参照 ④自然放射線測定体験：中止 来館者数：3,199名 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により臨時休館(8/18～31)
(3)	クリスマスイベント	12/18、19	①工作教室の開催 計3件 ②ジオ・ラボ号、実験コーナー 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照 来館者数：529名
(4)	バレンタインイベント	全て中止 (2/11、12)	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止 ①工作教室の開催 計3件 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照
(5)	リニューアルオープン記念イベント	3/26	①工作・実験教室の開催 計2件 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照

(6)	親子星空観望会 &ナイトミュージアム	7/21 12/15 1/27	計3回開催 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、 8月(2回)中止 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)及び2(2)参照 参加人数：101名
(7)	スタンプラリー& スタンプチャレンジ	6/1～30 7/21～8/17 12/1～1/10 1/15～3/25	①2館スタンプチャレンジ【新規】 ②夏休みスタンプラリー ③冬のスタンプラリー【新規】 ④2館スタンプチャレンジ
(8)	毎日クイズラリー &カタカナラリー		科学館チャレンジクイズを実施：中学生以下対象 カタカナを探すクイズを実施【新規】：未就学児対象

3 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) スタンプラリー

日立シビックセンター科学館、げんでん東海原子力館別館、原子力科学館による夏休みスタンプラリーを7/21～8/17に実施し、3館達成者640名に記念品を贈呈した。また、今年度は新規に冬のスタンプラリーとして、同3館で12/1～1/10に実施し、達成者153名に記念品を贈呈した。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏休みスタンプラリーは期間短縮となった。

(2) 2館スタンプチャレンジ

げんでん東海原子力館別館との2館スタンプチャレンジを6/1～30及び1/15～3/25に実施し、達成者1,616名に記念品を贈呈した。

(3) 職場体験

東海村内の学校からの依頼に基づき、令和3年度は東海南中学校2年生4名(8/3)及び東海中学校2年生4名(11/4)に加え、新たに村松小学校6年生4名(11/19)も受入れ、放射線の基礎知識及び学芸員体験実習等の体験教育を行った。

(4) 原子力広報機関連絡会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

4 原子力科学館の運営管理

(1) 原子力科学館における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ① 職員のマスク着用、出勤前の体温測定の徹底及び来館者へのマスク着用をお願い
- ② 施設出入口及び館内にアルコール消毒液の設置(本館5ヶ所、別館1ヶ所)
- ③ 案内カウンター及びイベントでの机上に飛沫防止用の透明アクリル板等の設置
- ④ 非常扉等を開放しての換気強化及びイベント参加人数の制限
- ⑤ 多くのお客様が触れられる展示物、手摺等は、定期的に消毒
また、抗ウイルス・抗菌性軟質フィルムの貼付
- ⑥ いばらきアマビエちゃんの事業者登録
- ⑦ 入口付近に非接触式検知器を設置し、来館者の体温を測定
- ⑧ 本館及び別館の男子トイレ小便器及び別館トイレ手洗器の自動水栓化【新規】

(2) 展示施設の維持管理

- ① 地震時避難誘導訓練（毎月）
- ② 火災時の通報訓練、消火訓練（1回/年、11月8日）
- ③ 普通救命講習会（1回、4月26日）
- ④ 受電設備の整備
老朽化した高圧機器（動力変圧器）の交換を行った。

(3) 原子力科学館への誘客広報

- ① 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
- ② 近県の旅行代理店や茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ③ 原子力科学館の年間イベントスケジュールの早期発信
- ④ 県内キャンプ場・バーベキュー施設等へ周期表プレゼント付きリーフレット送付
【新規】
- ⑤ 「ライドアラウンド in central いばらき」への参加によるサイクリストへの来館促進（10月1日～12月5日）【新規】

5 令和3年度来館者数

（単位：人）

	3年度	2年度	元年度	増減 (3年度－2年度)	備考 (H22年震災年度)
団体	1,332	1,069	3,462	263	5,801
個人	14,640	9,302	17,422	5,338	25,232
計	15,972	10,371	20,884	5,601	31,033

(注) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年度はR2.4/1～5/31及びR3.1/19～2/11、R3年度はR3.8/18～9/26臨時休館

II 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	教員向けセミナー	7、8月	原子力教員セミナー【茨城県からの受託事業】 落札不可
(2)	出前授業	9/30～3/15	学校への原子力専門家派遣事業 【茨城県からの受託事業】 学校へ出向き、授業の一環として放射線に関する実験教室や講演を実施 開催場所：各小中高等学校など 実施回数：28回 参加人数：1,014名 (詳細は別表1のとおり)
(3)	サイエンス工房		次世代層を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施

	<p>【ゴールデンウィークイベント】</p> <p>5/2 5/3 5/4</p> <p>【夏休みイベント】</p> <p>7/31</p> <p>【クリスマスイベント】</p> <p>12/18 12/19 12/19</p> <p>12/18、19</p> <p>【バレンタインイベント】</p> <p>全て中止</p> <p>(2/11) (2/11)</p> <p>(2/12)</p> <p>【リニューアルオープン記念イベント】</p> <p>3/26</p> <p>3/26</p> <p>【星空観望会】</p> <p>7/21 12/15</p> <p>1/27</p> <p>【その他】</p> <p>11/11</p>	<p>5/2 5/3 5/4</p> <p>7/31</p> <p>12/18 12/19 12/19</p> <p>12/18、19</p> <p>全て中止</p> <p>(2/11) (2/11)</p> <p>(2/12)</p> <p>3/26</p> <p>3/26</p> <p>7/21 12/15</p> <p>1/27</p> <p>11/11</p>	<p>① 工作教室「カラフルパラシュート」：93名</p> <p>② 工作教室「くるくるやじろべー」：98名</p> <p>③ 工作教室「スライムで遊ぼう！」：112名</p> <p>④ 「おゆまるで化石のレプリカを作ろう！」 ：97名</p> <p>⑤ 「スライムであそぼう！」：30名</p> <p>⑥ 「遠くへ飛ばそうブーメラン！」：62名</p> <p>⑦ 工作教室「ダンシングソックスを作ろう！」 ：39名</p> <p>協力：茨城工業高等専門学校国際創造 工学科 電気・電子系 服部 綾佳 氏</p> <p>⑧ ジオ・ラボ号がやってくる！ 展示車乗車：280名 ベントナイト実験：204名 バスボム作り：314名 協力：NUMO 原子力発電環境整備機構</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 全て中止</p> <p>⑨ 「キラキラ万華鏡」</p> <p>⑩ 実験教室「先生、人工イクラがスイスイおよいでいます!?!」 協力：茨城県立日立北高等学校 沢島 博之 氏</p> <p>⑪ 「スライムで遊ぼう！」</p> <p>⑫ 実験教室「偏光板でステンドグラスを作ろう」 ：37名 協力：公益社団法人日本技術士会 茨城県支部</p> <p>⑬ 工作教室「もうすぐ新学期！忘れ物チェックボードを作ろう」：70名</p> <p>⑭ 親子星空観望会：40名</p> <p>⑮ 親子星空観望会&ナイトミュージアム ：38名</p> <p>⑯ 親子星空観望会&ナイトミュージアム ：23名 詳細：Ⅱ普及啓発事業2(2)参照</p> <p>⑰ 放射線測定体験：42名</p> <p>合計：1,579名</p>
(4)	科学館でのイベント(サイエンス工房以外)	7/31~8/17	<p>① 紙ダイナソー(自分で塗った恐竜が動きだす) ：1,457名</p> <p>② アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 ：1,742名</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 臨時休館(8/18~31)</p>

<p>(5)</p>	<p>シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」</p>	<p>10/2 10/30 11/6 12/11 1/22</p>	<p>アインシュタインスクール 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限及び感染防止対策を実施して開催 【笠間市との共催事業】 (会場：笠間市地域交流センターともべ「トモア」) 第1回 演題：原子力事故と安全・防災対策 講師：東京大学教授 岡本 孝司 氏 参加人数：33名 第2回 演題：放射線の基礎 講師：茨城大学教授 田内 広 氏 参加人数：25名 第3回 演題：放射性廃棄物と原子燃料サイクル 講師：東京大学名誉教授 寺井 隆幸 氏 参加人数：35名 第4回 演題：地球経済とエネルギー・温暖化問題を考える 講師：常葉大学名誉教授 山本 隆三 氏 参加人数：36名 第5回 原子力施設見学会：日本原子力発電(株) 東海第二発電所及び原子力科学館 参加人数：27名 合計：156名</p>
<p>(6)</p>	<p>原子力と放射線の基礎知識普及啓発講座</p>	<p>8/1 10/17</p>	<p>【茨城県からの受託事業】 普及啓発講座 ① 第1回 市町村：那珂市 受講者：那珂市大内地区住民 講師：山根 剛 氏 開催場所：那珂市大内公民館 参加人数：14名 ② 第2回 市町村：東海村 受講者：茨城県民 講師：田村 勝裕 氏 開催場所：原子力科学館 別館研修室 参加人数：17名</p>

		11/23	③ 第3回 市町村 : 那珂市 受講者 : 那珂市住民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 那珂市中央公民館 参加人数 : 40 名
(7)	出前原子力展示	全て中止 (8/22) (10/17) (11/13、14) (11/23)	市町村等のイベントに霧箱やパネルを展示し、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止 ① なかひまわりフェスティバル 開催場所 : 那珂総合公園 ② 涸沼環境フェスティバル 開催場所 : 茨城町涸沼自然公園 ③ 商工感謝祭&大洗あんこう祭 開催場所 : 大洗マリンタワー周辺 ④ 東海 I~MO のまつり 開催場所 : 東海文化センター
(8)	視察研修 研修会	全て中止 (10/20) (11/25)	研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止 ① 群馬方面 (神流川水力発電所等) ② 福島方面 (福島第一原子力発電所等)
(9)	那珂市原子力科学 工作教室	1/6	【那珂市からの受託事業】 ・目で見える放射線観測体験 (霧箱作製) 参加人数 : 30 名 (小学 4~6 年生)
(10)	鉾田市原子力工作 教室	12/4	【鉾田市からの受託事業】 ・目で見える放射線観測体験 (霧箱作製) ・偏光板でステンドグラスをつくろう 参加人数 : 36 名 (小学生と保護者)
(11)	エネルギー学習バ ス	10/15	児童・生徒に原子力科学館の見学と体験教室を通して、放射線の基礎知識を含むエネルギーについて学ぶ学校等へ、バス借上代金の一部を補助する制度 学校等 : 日立市立東小沢小学校 参加人数 : 14 名
(12)	新春のつどいの開 催	1/11	参加人数の制限、着座、飲食無しでの開催 ・会場 : 水戸プラザホテル ・参加人数 : 261 名 ・出席者 : 国会議員、県知事、県議、 市町村長、正会員、賛助会員他

2 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) 親子星空観望会

花立山天文台ボランティアスタッフ及び日立シビックセンター科学館の天文ボランティアの方に講師として対応いただいた。(7/21、12/15、1/27) なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、8月開催予定の2回は中止とした。

(2) 原子力科学館イベント

NUMO 原子力発電環境整備機構にジオ・ラボ号展示車、ベントナイト実験コーナー等で協力いただいた。(クリスマスイベント 12/18、19)

3 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	4回/年
発行部数	10,000部(2,500×4回)
主な内容	第80号(7月15日発行) ・令和3年度定時総会を開催、GWイベント報告、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、市町村夏のイベント情報、テラchannelの創刊、原子力科学館アトミックトラベル展示開始、展示館イベント情報他 第81号(9月15日発行) ・原子力科学館夏休みイベント報告、職場体験報告、リニューアル第二期工事のお知らせ、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、市町村秋のイベント情報、普及啓発事業・アインシュタイン・スクール募集のお知らせ、展示館イベント情報他 第82号(12月9日発行) ・普及・啓発講座開催報告と募集、エネルギー学習バス事業開催、職場体験学習報告、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、HTTR【高温工学試験研究炉】運転再開、歴史と未来の交流館オープン、市町村冬のイベント情報、展示館イベント情報他 第83号(3月10日発行) ・令和4年新春のつどいを開催、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、原子力科学館第二期工事まもなく完成、シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」開催報告、NUMOの地層処分展示車ジオ・ラボ号が行く、市町村春のイベント情報、クリスマスイベント開催報告、展示館イベント情報他

※本年度も、原子力協議会ホームページに掲載し、適時に情報提供を図った。

(2) 原子力施設安全調査員の市町村等への配置【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和3年4月1日～令和4年3月31日
配置先及び配置人数	茨城県、東海村、大洗町 各2名 那珂市、水戸市、日立市、常陸太田市、鉾田市、茨城町 各1名
活動内容	原子力防災や環境放射線監視業務の支援

(3) 環境放射線監視データの整理・分析【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和3年5月26日～令和4年3月31日	
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷	85部×4回
	監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷	105部×2回
	環境放射線監視季報 取りまとめ、印刷	320部×2回

(4) ラジオ等を媒体とする原子力広報【茨城県からの受託事業】

ラジオ広報	
実施時期	令和4年2月14日～3月11日
実施回数	40回(2回/日)
実施内容	茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A形式で実施。質問内容は、各種講演会等で寄せられたものをベースに作成
動画広報	
実施内容	ラジオ広報のQ&A形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

III 役員等に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月25日	令和2年度事業報告及び収支決算、事務局長の任命、令和3年度定時総会開催、中期計画(令和2年度～令和6年度)の進捗状況、原子力科学館のリニューアル進捗状況、令和2年度会員異動状況について
定時総会	6月25日	令和2年度事業報告及び収支決算、理事及び監事の選任、中期計画(令和2年度～令和6年度)の進捗状況、原子力科学館のリニューアル進捗状況、会員異動状況について
第2回理事会	6月25日	会長の選定、副会長の選定、常務理事の選定、顧問の委嘱
第3回理事会	11月16日	令和3年度収支予算の補正(案)、原子力科学館のリニューアル進捗状況、新春のつどいの開催について
第4回理事会	2月22日	令和3年度事業報告書の承認、令和3年度収支予算の補正・決算見込みの承認、令和4年度事業計画書の承認、令和4年度収支予算書の承認、原子力科学館のリニューアル進捗状況、令和3年度会員異動状況について

※第4回理事会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び当協議会定款第34条第2項の規定に基づき、書面による開催とした。

IV 組織体制等に関する事項

1 財務体質の強化

会員の退会及び年会費の減額が続いており、更に施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が避けられず、財務状況は依然として厳しい状況にある。

このため、新規会員の獲得、退会の慰留、会費の増額要請のほか、経費の削減を図るなど、財務体質の強化に努めた。

2 事業力の強化

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、普及啓発事業のうち、出前原子力展示、視察研修の研修会及び原子力科学館のイベントの一部の中止を余儀なくされたが、このような状況下においても、近隣科学館との連携を密にし、連携業務を実施するなど事業協力の強化に努めた。

3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため、日頃から職場研修等を通じて、職員の事務処理能力の向上とスキルアップを図るとともに、「顧客第一」の徹底を図った。

V 新型コロナウイルスの感染拡大の影響

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原子力科学館は令和3年8月18日～9月26日を臨時休館とし、この期間中に計画していたイベントが中止となった。また、県の受託事業や市町村からの受託事業が中止となるとともに、近隣市町村の産業祭等もあいついで中止となり出前展示も実施できない状況となった。

来館者数については、夏休み期間中に臨時休館となったこともあり、一昨年までの来館者数までは回復できなかった。しかしながら、ゴールデンウィークイベント等で、一昨年を上回る来館者となるなど、リニューアルの効果もあり、通常開館時には、回復のきざしが見えている。(来館者数－参考資料参照)

なお、科学館の開館及びイベント開催に当たっては、感染防止のための消毒や換気及び人数制限等の3密防止対策を実施した。

また、IT化推進ワーキンググループを設置し、コロナ禍でのITの活用による広報活動等について検討を継続している。

令和3年度学校への原子力専門家派遣事業の実績一覧

No.	日 時			市町村	学 校	対 象	実施人数	講義	霧箱	測定
1	9月30日	木	13:30～14:15	八千代町	川西小学校	6年生	20		○	
2	10月15日	金	14:00～15:30	日立市	東小沢小学校	2年～6年生	14		○	
3	10月21日	木	13:40～15:15	古河市	古河第二小学校	6年生	80			○
4	10月25日	月	14:50～15:35	ひたちなか市	長堀小学校	理科クラブ 4年～6年生	31		○	
5	11月 1日	月	15:40～16:10	水戸市	妻里小学校	1年～6年生	29	○		
6	11月 5日	金	15:00～15:30	水戸市	河和田小学校	1年～5年生	65	○		
7	11月 8日	月	10:05～10:30	水戸市	鯉淵小学校	1年～6年生	34	○		
8	11月 8日	月	14:50～15:35	水戸市	上中妻小学校	1年～6年生	24	○		
9	11月 9日	火	9:45～12:00	つくばみらい市	開智望小学校	4年 2クラス	52			○
10	11月 9日	火	13:50～14:20	つくばみらい市	開智望小学校	4年 1クラス	34			○
11	11月15日	月	14:40～15:10	水戸市	内原小学校	1年～5年生	56	○		
12	11月16日	火	9:25～11:15	鹿嶋市	中野西小学校	5、6年生	25		○	
13	11月22日	月	9:30～10:00	水戸市	双葉台小学校	1年～5年生	36	○		
14	11月22日	月	15:00～15:30	水戸市	赤塚小学校	1年～5年生	28	○		
15	12月 8日	水	11:40～12:25	常陸太田市	金砂郷小学校	5年生	12		○	
16	12月 9日	木	11:30～12:50	稲敷市	あずま北小学校	5年生	9		○	
17	12月14日	火	9:55～12:45	東海村	東海高等学校	1年生(2回)	72		○	
18	12月15日	水	9:55～12:45	東海村	東海高等学校	1年生(2回)	75		○	
19	12月16日	木	9:55～11:45	東海村	東海高等学校	2年生(理系)	9			○
20	1月18日	火	10:30～12:20	水戸市	水戸第二中学校	2年生	66		○	
21	1月19日	水	10:30～11:20	水戸市	水戸第二中学校	2年生	35		○	
22	1月20日	木	10:15～11:50	八千代町	中結城小学校	6年生 (2回:3・4時間目)	59		○	
23	1月21日	金	9:45～12:30	水戸市	水戸特別支援学校	中等部	20		○	
24	1月24日	月	9:45～11:35	水戸市	水戸特別支援学校	高等部	11		○	
25	1月26日	水	10:30～12:25	取手市	戸頭中学校	3年生	63		○	
26	1月27日	木	13:30～15:05	つくばみらい市	谷原小学校	4年生	14		○	○
27	2月18日	金	14:50～15:40	筑西市	下館北中学校	2年生	28		○	
28	3月15日	火	9:15～11:15	常陸太田市	里美小学校	6年生	13		○	

実施人数合計 1,014 人